

今年度 理事会・評議員会が開催

今年度 理事会・評議員会が開催
去る七月一日(月)に、宗務庁の研修道場、微笑庵において今年度初めての理事会ならびに評議員会が行われた。そして翌日には各委員会が各々開かれたのである。今回の主な議題は、今年度の総会の折に未だ決定を見ていなかった来期の副会長の件。それに会長選考で物議をかもし出した件。それに花まつりキャンペーンの件であった。まず次期副会長の人事については、

山田勇賢師(静岡一) 和田善明師(鳥根一) 高階弘昭師(福岡)の三名が選出され、承認された。既に総会時において、次期会長、寿松木宏毅師が承認されており、これでは、副会長ともすべて決定したのである。来期のスタッフはこれからであるが、四師におかれては今期以上に活躍を切に期待するものである。次に会長選考に関する件であるが、いわゆる会則に記されている年令に関する事項をめぐって問題が出されたのである。基本的には、会長は三十九才までの会員から選出されることを確認。そして、次期会長および副会長の候補者は、評議員会の決定時すなわち現会長在任の初年度の三月三十一日までに四十才未満の者とする付則する案を立て、もう一度検討することを申し合わせたのである。次に花まつりキャンペーンに関し

ては、今後どのような形で行ってゆくかという事について話し合いされた。今年度は一応現執行部の原案が承認され、神戸の震災遺児支援の鉢を東京の山手線主要駅で行ない、後追悼法要、花まつりコンサートという事となった。そして、日程等の詳細はまだ決まらなかったが、日取りは来年三月二十七日あたりがという線を打ち出している。この花まつりの催しについては何度となく執行部会を開いて煮つめてゆくものである。この他、理事、評議員の方々の交通費や全曹青の年会費の額等の問題が出され、討議された。しかし、討議に必要な以上の時間がかかり、決定的なものが見つからず、保留せざるを得なかった。今後充分時間をかけて検討すべき事項である。

時新たに去る九月六日(金)に執行部会が行われた。各委員会、研究部会の経過報告等がなされ、後、来年三月二十七日に行われようとしている花まつりキャンペーンについて話し合われた。具体的な時間なども出され、盛んに意見が白昼していた。この執行部会も回数を重ねて花まつりキャンペーンの骨子が次第に出来あ



発行所
全国曹洞宗青年会
〒105 東京都港区芝2-5-2
曹洞宗宗務庁内
発行責任者 桜井朝教
編集責任者 務台孝尚
TEL 03-3451-5411

墓碑・記念碑 設計施工 全優石加盟店、確かな技術と信用の店

かみと
上戸石材店
有限会社

代表取締役
上戸 末治

各寺院、宗派御用達店

かみとすえじ
上戸末治石材店です。

本社・工場 二戸市金田一字上田面180-1 (二戸バイパス沿い)
☎ 0195 (27) 2411・FAX (27) 2413
石の店かみと 二戸市金田一字上田面181-1
☎ 0195 (27) 4649・FAX (27) 3704

盛岡店 (株)石の上戸 岩手郡滝沢村字牧野村1011-36
☎ 0196 (84) 2238・FAX (87) 1904
青森店 上戸家石材 青森市駒込字月見野23-1
(株)上戸石材商事
☎ 0177 (41) 4732・FAX (41) 7725

授戒会研究部会報告

授戒会に関して歴史的に考察してみます。

在家授戒に関しては登山禪師「三木一草事」では、道元禪師が千人、懷奘禪師が六百余人、義介禪師が三百余人、登山禪師が七百余人に戒を授けたと記されています。(道元禪師は八齋戒を付与したといわれている)しかし、江戸期の論争から見ても、在家授戒の儀規は定型化していません。また宗門では日々の行持の継続を重んじるのであるから、宗義はそもそも在家を相手にはしていないように思われがちです。しかし出家の本願はやはり衆生済度にあると考えられます。その衆生の教化を段階的にとらえるとき、在家に対しては行の前に、信あるいは発心を起こさしめる必要が生じてきます。そこで信↓帰依三寶↓三帰戒↓受戒↓得度↓出家という図式が描かれてきます。在家にとって理解・実現が難しい坐行を真つ先に押しつけようとするよりも、受戒という解りやすい儀式を通じて坐行に近付けていくより現実的かつ有効な教化方法がとられたと

推察されます。

そんな中で、江戸期には黄檗宗の成立にともない、中国直伝の戒を求める宗侶やその他の僧侶が隠元禪師の元に殺到し、そしてまた黄檗の師を招待しての授戒が行われたりもしました。この時代は必然的に黄檗中心の授戒会が盛んに行われたといえます。この隆盛をみた宗門の師は、黄檗に依らなくても、「本来、正伝である善の宗門の禪戒」を積極的に研鑽する必要性を痛感し、江戸宗学のひとつとしての禪戒を体系づけることを最大のテーマにしていって、訳です。そして宗門の禪戒の発揚・意義付けがなされると、これこそがいちばん価値の高い戒であるとして、改めて民衆に宗門の優位性を示しつつ、直接宗侶の手による授戒教化へと発展していきました。おそらくはこの時期に、現行の儀規の原型が固まったことと思われれます。

その後、廃仏毀釈の憂き目を目の当りにした明治期の各師は、正伝の仏法の断絶を恐れ、在家布教という立場を確立せねばならなかった訳です。そこで在家教化を見据えて、坐

禅ではなく受戒をメインにした「修証義」が編纂されます。これはある意味で画期的なことであり、ある意味では宗義から遠ざかることでもあった訳です。「修証義」が基本聖典として普及すると、難しいことは知らなくても心ある在家信者は受戒を望むようになり、これを機に授戒会を開催して教化を進めることが可能になってきたと思われれます。六斎日を守る人はそうそう多くはなかったと思われれますが、寺院では布薩が行なわれれば積極的に参加、齋米(ときまい)などを供える習慣もあったとされます。憶測ではあるが、一般寺院における布薩は半月から次第に回数が増えられ、半年毎(盆前後と小正月前後)程度になったのではなからうかと思われれます。そしてまた、本来の清浄・厳格な反省会の意味が薄れ、単なる酒宴に近い状態に転化していったと考えられます。僧侶の妻帯が許されたのもこの時期です。

内容的には完全なものとはいいかねますが宗門のおおよその授戒に関する歴史的な考察は以上の通りです。

また正確さを欠く箇所もいくつか指摘されることと思われれますので皆様からのご教示ご意見を事務局宛てに送っていただければ幸いです。

—— 木版・手摺の佛教書籍御経本 ——

黄檗鉄眼版 大般若波羅蜜多經 全六百卷

同上両面摺三百卷仕立 (転読用堅牢黄紙製出版元)

ばい よう
有限会社 貝葉書院

〒604 京都市中京区二条通木屋町西入
TEL (057)23-0919 振替 京都 01000-0-755
FAX (075)22-3582 振替 大阪 00930-3-1540

第26回

九州曹青総会
長崎県島原大会 開催

六月十三日、長崎県島原市に於いて、長崎県曹洞宗青年会主管により九州曹洞宗青年会・長崎県島原大会が九州各県より七十余名の参加を得て盛會裡に開催された。

雲仙・普賢岳6・3大火砕流惨事などで多くの犠牲者を出した島原市で開催とのことで開催式及び総会終了の後、前島原市長で現在宗門の護持会九州代表理事等を努められている鐘ヶ江菅一氏による「雲仙普賢岳噴火災害に遭遇して」と題して講演が行われた。

市長退任の後は島原支援への御礼をかねて全国各地を講演等で行脚され防災意識の喚起に務められているだけに、実体験に基づき、時折涙しながらのお話には大変感銘を与えられた。

その後、鐘ヶ江氏自らの案内により水無川の被災地を視察し、現地慰霊碑前に於いて今大会のメインである「雲仙普賢岳災害犠牲者慰霊法要」が九曹青会長畑野孝之師を導師とし

て厳修されました。

法要終了後、市内ホテルに於いて懇親会が開かれなごやかに旧交を暖め次回福岡県での再会を誓い合つて



全日程を終了した。

なお全曹青からは桜井会長及び東井総合企画委員長、九曹青会員として荒木青少年教化研究委員長が出席いたしました。

平成八年六月十四日の長崎新聞より

6・3大火砕流
犠牲者らを追悼

九州曹洞宗青年会

〔島原〕九州曹洞宗青年会（畑野孝之会長）は十三日、雲仙・普賢岳6・3大火砕流惨事などで亡くなった犠牲者の追悼法要を島原市仁田団地の追悼碑前で開いた。

今年本県が総会の開催県になったため「島原で開催し慰霊しよう」と決定。同日、市内で開いた総会には九州各県から四十歳以下の僧約七十人が参加、水無川の被災地を見学した後、法要。

総会で講演した前市長の鐘ヶ江菅一さん、被災者代表らも参列し、犠牲者のめい福を祈った。畑野会長は「報道では知っていたが、現地で被害の甚大さを実感した。また災害をプラスに転じようとの姿勢には感銘しました」と話していた。

印刷のトータル・プロダクト

三協美術印刷株式会社

本社

東京都品川区北品川5-7-17
TEL 03 (3443) 6781代
FAX 03 (3444) 1626

佐倉工場

千葉県佐倉市大作2-12-1
TEL 0434 (98) 3711代
FAX 0434 (98) 3714

「平等」

都立駒込病院外科部長 森 武生

先日、学会の帰りに山形を訪れた。

山形盆地を取り巻く山々の間に、観光客でにぎわう山寺のある谷の静かな高瀬という無医村の谷の入口に開業した友を訪ねる目的であった。彼が喜んで、とにかく自分の診療圏を見ていってと、谷を上へ車で案内してくれて、そのどんすまりに開元杉という古木のある寺のある集落まで遡っていった。

自転車では登れないような急な坂が続き、よくこんなところをと思うような急な斜面がきれいに耕され果樹園や野菜畑が、秋の収穫を自ら期待するかのごとく豊かな緑を見せてたずんでいた。空は狭いながらも雲が浮かび透き通る青であった。こんな所に生まれて住んだら心が洗われるような毎日であろうなど月並みなことを思っていたら、心のどこかで本当にそうかね、と天の邪鬼が質問を發した。東京で育った私には確かに住み続けることは難しいかもしれない。しかしそんなことよりもなぜか強く感じられたことは、も

し自分がここに生まれたとしたら、同じ自分でありながらきつと全く異なった人生を送っただろうと言うことであった。

人は生まれたときから平等であるということとはどこかの偉い人が言ったことである。しかし自分の親や生まれる環境を個人が選ぶことはできない。生まれたときにすでもものすごい不公平が存在するのである。東北の谷の奥に生まれるか、東京のど真ん中で生まれるか、親の職業や経済力や生活環境など、生まれたときにすでに大きな差がそこにあることが多い。まして日本で生まれればともかくアフリカの奥地で生まれれば自意識が誕生するまで生を続けることさえ怪しい。もちろん何千人何万人に一人の天才はどのような環境にいても頭角を表してくるのだろうか我々は凡人であり、生まれたときの環境はその人の人生を大きく規制してしまう。これをその人の宿命とか運命とか宿縁とか言つて、済ませるほど簡単なものではないような気がする。

する。一個の人間の必死の努力ではとても追いつかないような巨大な不公平を一体何と云つて説明できるのだろうか？ 貧しくとも豊かな自然の恵みがあればよいか、職業に貴賤はないとか、心が正しいことがなによりも重要なことであるとか、色んな言い方があるとは思ふ。しかし現代のように情報化が進んだ時代に、凡人の持つ、世の中に伝えられるめくるめくような金銭や名誉や安楽にたいする欲求とそれを得るための努力に、最初からすでに大きな差があることを納得させるだけの言葉は、私は募聞にして知らない。

私の職業から、多くの患者が痛に侵されたその時に遭うことが多い。癌は全く突然に健康な人を襲う。肝硬変とか糖尿病とか日頃から大酒飲みだつたり、不摂生な大食漢だつたりすれば本人も家族もある程度は納得が行く。しかし癌は違う。どうしてこんなにまじめに生きてきた自分が、どうしてやつと苦勞が少しは実つてこれから人生を楽しめると思つていた自分が、こんなまだ若くてやつと人生を歩き始めた息子が娘が、なんで癌にならなければならぬのかとても納得できることではない。世の中ではどう考えても悪人で

寺院用佛具・佛壇・製造販売
曹洞宗梅花流法具販売指定店



ほうこう

- | | | | |
|-------|---------|----------------|----------------|
| 本店・工場 | 〒940 | 長岡市高畑町6番地 | ☎(0258)33-5644 |
| 新潟市 | 〒951 | 新潟市関屋大川前1-11-2 | ☎(025)233-4493 |
| 新潟市 | 〒350-11 | 新潟市新潟町1-23-2 | ☎(0492)44-7741 |
| 新潟市 | 〒370 | 新潟市江木町1179-2 | ☎(0273)24-3721 |
| 新潟市 | 〒380 | 新潟市稲葉1980-1 | ☎(026)222-3811 |
| 新潟市 | 〒260 | 新潟市中央区椿森1-24-5 | ☎(043)287-1231 |

不道德な奴らが平気で生きているのになんで自分が痛にやられなければならぬのかという、不条理さや、不平等感や、なによりもこの世から存在しなくなってしまうことへの絶望感が渦巻くのである。それが運命さ、神様がそう決めたんだからしょうがない、仏様だって色即是空とかいつて金や栄華や人生のような形あるものは本当は空しいものであるといっているじゃないか、などという言葉は慰めにもならない。それでは死とは何なのか？キリスト教にはある程度復活の概念があり、しかもそれが納得できる形で現代でも教徒に受け継がれているし、死後に神の世界へ召されるのだということは潜在的な意識としてキリスト教徒の基本概念になっっているように見える。しかし仏教の極楽の概念が現代の日本人の心の中に定着しているとは言いがたい。むしろ死は無であり、人は無から生じて一瞬の人生を過ごしたま無へ帰るのであるという概念の方が受け入れやすいのではないだろうか。そして納得してもしなくても公平だろうが不公平だろうが、やがて死は来るのである。

人生は最初から不公平だし、その最後も痛などにやられれば全く不公平である。悠久の宇宙の長さから言

えば人生などは瞬きのそのまた何億分の一程度の長さである。でもせっかく生まれてきたのならば、一瞬に過ぎなくとも自分の一生を何とか納得して生きていきたいと思う。仏の価値観の中で誠実に生き続けることは確かに有意義なものかもしれないし、それを人に説くこともそうだろう。しかしいくら精一杯生きたとしても、人生とは最初から最後まで不平等なことを理解させ、しかも高度情報化社会の中で、生きる上の「縁」の仏教的理論を構築し、現代日本人に理解させることは、キリストもマホメットもお釈迦様でも胃潰瘍のできるような命題だろうと思う。

プロフィール

1941年生。東京渋谷に育つ。
東京教育大学附属高校を経て、
1971年東京大学医学部卒。

1975年より都立駒込病院外科勤務。現在外科部長。専門領域は消化器癌の外科、特に大腸癌。
著書「メスとパレット―外科医の春秋―」(婦人之友社)

住所 〒203 東久留米市学園町
一―十四―二十七

両大本山御用達
梅花流法具販売指定店

法衣・装束・荘厳・神仏具・贈答用記念品



株式会社 梅金商店

〒460 名古屋市中区大須三丁目39番33号(大須交差点東北側)

TEL (052) 241-0901 (代表)

FAX (052) 241-1904

◆ 営業品目 ◆

寺院専用各種記念品・慶弔用品・御布施用品・お供物品
その他寺院用品全般・結婚式引き出物・香典返し用品
企業及び商店PR用品・販売促進品・ギフト用品全般・名入れ・包装・のし掛け



わげんどう
和顔愛語の 和顔堂

〒141 東京都品川区西五反田 5-7-4

☎ 03-3490-1061 内
FAX 03-3490-1066
☎ 0120-7676-00

あいがたいと言っ心
おかげさまと言っ心
もったいないと言っ心

和顔堂に足らぬの三つ

「今、若者は宗教に何を、求めているか」(II)

— オウム真理教、統一教会を中心として —

有田芳生氏

中川智正は、当時やはり林医師と同じように、現代医学で、よほど熱心に治療行為をやつても亡くなつていく人がいると、その虚しさをやはり中川智正という若い卵の医師も思っていた時期なんですよ。その時、説法を聞いて、いきなり「おい中川」とやられてびっくりするんですよ。中川は、その場で質問しました。だけどそれに対して麻原彰晃は、それ以上の事を知りたいんだつたら暫く道場に通ってみろという。それがきっかけなんです。で、道場に通い出して、出家をしてわずか一か月半後に坂本弁護士一家殺害事件に加わってしまう、そこからへんの心の動きというのは、もともとと取材をしなければいけないし、まだよく分かっておりません。今後の裁判でそういう局面も出てくるかもわかりませんけども、いずれにしても心優しい、超能力などはないんだと言っていた中川智正が、オウム真理教に入っていくということから考えても、少しの事でそういう世界に入り込むということがあるんだという

ことは、しっかりと知っておかなければいけないというふうにも思いますが。それからもう一人、麻原彰晃と全面対決の路線を示している井上嘉浩という二十六才の謀報省という部署の責任者がいます。彼の生い立ちなんかを見ていると、今のある種の若い人達の心と共通するものを考えていたと思います。井上嘉浩は、京都の洛南高校を卒業するんだけど、一度中退に近い形になってオウムに引かれていく。彼がオウムに引かれたきっかけと言うのは、これまた深刻な問題を投げ掛けていると思えます。井上嘉浩は、中学二年の時に友達と、京都の市内でカラオケにたまたま行くんですよ。カラオケに行つて、歌詞カードをバラバラと読んでいた。そこでシェリーという尾崎豊の曲を見つけてるんですよ。シェリーという曲は、見てもらえば分かりますけども、おそらくシェリーという女の人の人に向かって歌の中の主人公が本当に夢を持って生きていくようにしていたけども、あの時の

夢というのは自分は今も無くしていませんか、ということもシェリーに尋ねる。俺は変わってしまったんだらうかということも尋ねる。そういう曲なんですよ。そのシェリーという曲を見出した井上嘉浩、まあ、少年ですよ。彼は、尾崎豊の歌の世界にどんどんどんはまり込んで行った。そして中学三年の時、願望という詩を書きました。煎じ詰めれば、要するにこれから高校に入りそして、あるいは大学に行く、そして社会に出て、サラリーマンで毎日毎日満員電車に揺られて、夢のないお金のためだけの生活をしていくんだらうかと、人間に生まれて来たのは、そんなことのために生まれて来たんだらうかということ、尾崎豊にかなり影響された言葉で願望という詩に書くんですよ。そういう願望という詩を書いた井上嘉浩が、その直後にオウム真理教に出会う。そして修行の世界にどんどんどん入り込んで行って、世の中を自分たちが変わること、仏教の教えを学びながら自分たちが変わって行くことで、そういう人間が増えることで、世の中を変えて行くんだという麻原彰晃に言わせると、天才的修行者というところにまで進んでいく。そして、二千人の信者達を獲得するだけのエネルギーな活動を行うんですよ。ただ、井上嘉浩タイプの人間達というのは、昔は学生運動など、あるいは市民運動などもっと盛んな時にはたくさんいたわけで、もし仮に井上嘉浩の目の前にそういう、かつての学生運動とか市民運動などの人達がいたら、おそらく井上嘉浩はそっちの方向へ行つたんだらうと思うんだけど、たまたまオウム真理教が教える人間が変わること、世の中を変えるんだということ、そこに引き込まれて行った。そういう井上の心情があるんですよ。

一昨年の事ですけれども、東京を中心とした大学生達で、オウム真理教に引かれてあやうくオウムに入りかけていた人、あるいはオウム真理教に入ってしまった人達に話を聞く機会がありました。その話を聞いて非常にびっくりしました。だいたい十代後半から二十代前半の男女の人達なんですけれども、オウム真理教になぜ引かれて行ったのかということ

を自分たちが変わること、仏教の教えを学びながら自分たちが変わって行くことで、そういう人間が増えることで、世の中を変えて行くんだという麻原彰晃に言わせると、天才的修行者というところにまで進んでいく。そして、二千人の信者達を獲得するだけのエネルギーな活動を行うんですよ。ただ、井上嘉浩タイプの人間達というのは、昔は学生運動など、あるいは市民運動などもっと盛んな時にはたくさんいたわけで、もし仮に井上嘉浩の目の前にそういう、かつての学生運動とか市民運動などの人達がいたら、おそらく井上嘉浩はそっちの方向へ行つたんだらうと思うんだけど、たまたまオウム真理教が教える人間が変わること、世の中を変えるんだということ、そこに引き込まれて行った。そういう井上の心情があるんですよ。

聞きましたら、何人もの人達がこう
言いました。これまで生きて来て、
これまでと言ったって、十何年から、
二十何年かなんですが、オウム真理
教の人達ほど熱心に情熱を持って、
日本が今どうなっていて、これから
どうなっていくのか、そして世界は
どうなっていて、世界はこれからど
う動こうとしているのか、その事を
あの人達ほど熱心に語ってくれた人
はいないと言うんですよ。親も教
えてくれない。教師も教えてくれな
い。だれもそういう話をしてくれな
かった。だけど自分たちはそういう
問題も考えたいんだと、いうことで
オウムに引かれましたと言いました。
じゃあオウム真理教がどういうこと
を教えていたかという、ある程度
正しいことを言うんですよ。言っ
ていた。

例えば、今の日本の社会とこの
は、小さい子供の頃からハンバー
ガーであるとか、ポテトチップスで
あるとかあまり歯を動かさなくてい
いような咀嚼しなくていいような物
ばかり食べさせられていることに
よって、人間が退化をして行って、
今の若い人達の寿命というの短い
んだということを例えば言う。それ
は、日本の穀物の自給率っていうの
ばどんどんどん低下していつて
いるけども、これはアメリカの圧力
によるもんだと、これも客観的な事
実なわけなんですよ。

それから日本に在日米軍基地が百
二十三か所あって、在日米軍が四万
七千人いる。そういう話もする。だ
から政治的な問題でも、これはいろ
んな評価があるでしょうけども彼等
は、ある種猜疑的なことも言うん
です。ただそこから荒唐無稽な話し
なっていくわけなんです。在日米軍
が四万七千人いて、アメリカ軍は何
をしようとしているかという、一
九九七年から九九九年にかけて、ア
メリカが日本に各攻撃を仕掛けてこ
うとしている、でアメリカが各攻
撃をしてきた時に在日米軍の四万七
千人は、日本の地下に潜る。日本が
壊滅した後に地下に潜っていた米兵
達が地上に出て来て、そして日本を
占領するんだという言い方をする。

そのことを狙っているのが、ア
メリカの支配者であって、その背景に
はフリーメイソンがいるんだとい
う話をするんですよ。これは、社会
科学的な知識を少しでも学んでい
れば、荒唐無稽なばかげた話だ
分かるんだけれども、今の若い人
達っていうのは、例えば、落合信彦

さんであるとかの本を一生懸命読ん
でいて、日本をフリーメイソンが占
領しようとしているとか、あるいは、
世界中を支配しているのがフリー
メイソンだというような理解が、か
なり若い人の間に入り込んでい
けですよ。

そういう基盤がある下で、そうい
う荒唐無稽な教えも通用してしま
うような客観的状況があると思うん
です。それからオウム真理教が言っ
ているのは、上九一色村などには、日
本の支配層、彼等の表現では、内閣
調査室やJ CIA、日本のCIAが
毒ガス攻撃を仕掛けてきていると、
それはなぜかという、オウム真理
教ってのは、日本の物質繁栄社会の
中で、精神の大事さを唱えていると、
だから精神が大事なんだということ
を信じる人が一人でも二人でもど
んどんどん増えていけば、それは、
日本の社会の基盤が崩れていくこと
になると、だから日本の支配層は、
そういうオウム真理教を潰そうとし
ている。だから上九一色村などに毒
ガス攻撃を仕掛けていんだとい
うようなことを言うんですよ。そ
にだけ、またおもしろさを覚える
若い人達、つまり、謀略的な歴史観、
謀略史観みたいなものを信じる若い

曹洞宗専門
法衣・仏具
梅花流法具

衣ころも

株式会社 細野福藏商店

〒604 京都市中京区高倉通御池南入
Tel 075(221)1455(代) FAX 075-221-7811
フリーダイヤル 0120-1455-07

人がいるということだろうと思いません。それは、学校教育、あるいは家庭教育の問題として、今の社会をどう見るか、もっと単純に言ってしまうと、新聞の記事のようなレベルでさえ、今の若い人達の中では十分科学的に認識されていないその一方で、さつき言った謀略史観的なものが広がっている、信じている若い人がいると、という下で、オウムが教えがすんなり入ってしまう人達が多いという事だと思えます。

それからもう一つ、強調しておきたいのは、オウムに入ってしまった人達の特徴の一つは、きわめて社会性に欠如しているということだと思えます。さつき言った、オウムの勧誘の口口にひっかかる人がいるという大きな根拠は、やはり今の若い人達の間で、社会性があまりにも欠如しているという問題があると思えます。例えば、さつき村井秀夫という幹部の話をしましたけども、村井秀夫は、中学、高校と非常に優秀な成績だった。高校時代の化学の時間に先生が試験問題を出して、授業でそれまで教えていない、これから教えることを試験に出した。それを村井秀夫は、解いてしまうんですよ。村井秀夫は、授業が終わればすぐに

図書館に行つて、これから先に習う事もほとんど自分で勉強していた。そしてそういう化学的な能力、数学的な能力というのがあつたわけですから、先生が不意打ち的に教えていないことを試験問題に出しても、すらすらと解いてしまつた。

それで先生もびっくりするし、同級生達もびっくりするという、そういう能力を彼は持っていたんですよ。しかし社会の時間で、先生が時事問題をやつた。クラスの全員を立たせて、時事問題で問題を出して、答えられた人から一人一人座っていくというそういうテストをやつたんですよ。その試験で最後の一人に残つたのが村井秀夫だった。彼は何も答えられなかった。化学的な知識、数学的な知識についてはものすごく能力があつたにも拘らず、社会で起つてくることの基本的な事も彼は頭の中に無かつたんですよ。

昨年、瀬戸内寂聴さんとお話をする機会があつて、瀬戸内さんがオウムの信者達についてこう言いました。あの入道つてのは、文学を読んだことがないんじゃないのと言いました。瀬戸内さんがそう言つた根拠というのは、高橋英利君という、麻原のそばで占星術の仕事をやつてい

た男が教団を昨年脱会して、今回本を出しましたけれども、彼が瀬戸内さんのところに心のケアをしてもらいたくて何度か通うんですよ。高橋君というのは、オウムの教えを信じていた時期があるんだけど、同時にリルケの詩集なんかよく読んでいた。そのことを瀬戸内さんは知つて、高橋君はそういう文学的な素質があつたから、文学的な素養を身につけていたからオウムのやつて

いることのおかしさに自分で気がついたのでないかとおっしゃいました。僕なりに瀬戸内さんの言葉を膨らませると、文学を読んでいたか、いなかつたかというだけではなくて、文学精神の欠けている人達があまりにもオウム真理教には多いということでした。

例えば、林郁夫というさつき言つた地下鉄でサリンを實際に撒いた男ですけども、彼は、心臓外科で非常に優秀な成果を上げていたんだけど、小説の類いを読んだことがないというのが、肉親の証言なんです。ただそこから人間に対する見方なども非常にひからびた物が出てくるんじゃないかと思ひますし、ましてやオウム真理教で出家してしまうと、俗世間のものはずべて遮断する。

新聞を読んではいけない。テレビを見てもいけない、ましてや小説も読んではいけない。音楽も聴いてはいけない。そういう世界に入り込むわけなんですよ。オウムに入つた親に連れられて行つた子供達にしても、オウム真理教に入つてからは絵本もないんですよ。絵本も読んではいけない。中で見せて貰えるビデオといえば、麻原彰晃がアニメになつて、かっこうよく描かれて、宙を飛んでいるビデオとか、あるいは音楽にしても、オウム真理教が持っていたオーケストラ、その音楽がいしか聴いてはいけない。それから、歌も聴いちゃいけないんですよ。出家信者というのは、そういう俗世間などは、すべて断つていうことで一切許されなかつた。

去年、教団の施設を見学した時に、第8サティアンという科学技術省、つまり、サリン、VXガスなどを作つていた、その部署の信者達が使つていた図書館、そこに入つてみてですよ。その図書館に入つてみて驚いたのは、数学、微分積分であるとか、宇宙物理であるとか、いわゆる科学関係の本というのは本棚にぎっしり入っていましたけども、その本棚の中に、文学に関わるものは

一冊もありませんでした。そこに象徴的に現れているようにやはり、人類の遺産である優れた文学であるとか、音楽であるとか映画であるとか、そういうものから遮断されて、極端な教えを注ぎ込まれた人達がどれだけの事件を起こせるかという事を、その点でも示していると思えました。そういうことも含めて、オウム真理教の人達は、あまりにも社会性が欠如しているだろうということを感じております。

もう一つオウム真理教で特徴的なことは、信者達の成育の中で、反抗期が無いんですね。これも重要な特徴だと思います。全員を調べたわけではありませんけども、あまりにも反抗期の無かった人達が多い。さっき言った課報省の責任者である井上嘉浩なども、お父さんから話を聞いた時に、嘉浩くんは反抗期がありましたかと言うことを聞きました。お父さんは即座に、いや反抗期などありませんでしたということを行いました。これは、今の若い人達のある種の特徴でもあるようです。小学校の先生、あるいは、中、高校の先生方に話を聞いても、最近では反抗期の無い子供達が出てきてるって言うんですね。これまで、単純な

教育の理論からいうと、当然人間が発達していく過程の中で、第一次反抗期、第二次反抗期があって、当然自立を進めて行く時に、自分の中の最も身近にいる親であるとか、あるいは教師に対して非常に反感を感じる。親や教師に反感を感じることで、反抗期として、自立をしていくという人間の成長の過程があったと思うんだけど。反抗期のない子供達っていうのは、反抗期がおそらくないわけじゃなくて、心の中では反抗心っていうのはあると思うんですね。だけどそのことを親あるいは教師に出さない。それをずっと押さえて生きていく。そして、自分が、オウム真理教あるいは統一教会などに関わって、そういうところに入っていると、ということが親たちに分かると、あるいは、教師に分かると、どこがよくて入ってるんだということになって、親とあるいは、教師とぶつかっていく。親からすれば、反抗期の無かったとてもいい子がそういうところに入ってしまった。信じられない。で、親とぶつかると、いうようなケースがあるんですけども、反抗期を通じて来て、心の中に押さえていた、という、それが親とぶつかつた時は、実に、初めて親とぶつかつ

た時は、そういうカルトなどに入ったことがわかったことだということになればまだ理解はつくんだけど、最近の教育の関係者に話を聞くと、さっきも言いましたように反抗期の無かった子供達が出てきていると、その事が、オウム真理教あるいは、統一教会に入っている子供達の中に反抗期の無かった者が多いという事と、どう結びついていくのかそこからへんも僕自身はまだよく分かっていないんだけど、一つの大きなテーマだろうというふうに思っております。(つづく)

◇◇◇◇◇ 〈管区大会の御案内〉

第十九回中国曹青、広島大会が左記の通り開催されます。

メインテーマは、「宗教に現代を観る」—オウム真理教を中心に—日時・平成八年十月二十九日、三十日会場・東広島市西条グランドホテル内容・国学院大学教授、井上順孝氏の現代日本と新宗教の講演、有限会社玉屋・児玉賢司氏の人生最期の儀式にたずさわっての講演等、種々の催しを行います。

〈梅花流法具指定販売店〉

法衣・袈裟・打敷・寺院荘厳具・京仏壇・京仏具



株式会社 安藤

〒605 京都市東山区古門前通花見小路東入ル
本社
 法衣部 電話(075)541-8161番代
 仏具部 電話(075)541-8165番代
 贈答品部 電話(075)541-8168番代
 FAX(075)525-2070番

東京店 〒105 東京都港区芝2丁目15番2号
 電話(03)3454-3232番代
 FAX(03)3454-3251番
 福岡店 〒812 福岡市博多区上呉服町12-7
 電話(092)291-2143番代
 FAX(092)291-2144番

仏教と薬草木

その三

(社)佐久薬剂師会会長 市川真人

☆茶

お茶の使用は佛礼に用いた事に始まります。内裏に於ては季御説経と称して春秋二回大般若經の講説が行われ、その際行茶と称して僧侶に茶を賜う。「奥儀抄」には聖武天皇天平元年(七二九年)四月、宮中に於て茶儀を行うとある。



作市川けい



坂本の日吉神社にては古来より茶園があり、四月十三日には四基の神輿に対して、献奉すと社伝に記録されているが、これは弘仁年来(八一〇〜八二三)の事である。「日吉社社秘密記」によれば、「茶木数多有之石像佛体有之伝教大師御建立之所、茶実従大唐大師求持給ひ御帰朝植此処其後山城国宇治郡に植え弘め給ふ云々」とある。

四国、中国は勿論、紀州等にも産出したといわれている。「東大寺要録」には僧行基徳行共に高く諸国に堂舎を建立すること四十九個処並に茶木を植ふ未世済度の為也とある。渡来した茶の実か或は日本古来の茶であるかは判明しないが、三河碧海郡薬王寺に茶園があったことが旧記に見える。

伝来の茶としては延暦二十四年(八〇五)最澄が中国より茶の実を持ち帰り近江の坂本に植えたのが始めである。

平安時代、茶は佛事に用いる外は薬草で宮中では典薬寮に属した。桓武天皇(七八二〜八〇五)は平安の都を定めらるるや典薬寮を豊楽殿の左方に置き、医薬茶園拘把園茶園等を掌らしめられた。「西宮記」には、茶は宿食を消し、身を軽くすると記されている。

一般には我が国の茶祖は榮西禪師ということになってはいますが、詳しく言うと同興の祖です。榮西禪師は禅門臨済宗の開祖で、第二回の渡宋の際、南宗に入らんとし、四朋を發し台嶺に上る途上茶山を發見し、その実を採取し、日本に持ち帰り、九州背振山麓に実を播き、後に聖福寺にも植えたといわれています。又

檀信徒用御本尊、兩祖像の

曹洞宗本尊釈迦牟尼仏奉讃会

奉讃会とは 曹洞宗檀信徒各位が、ご家庭のお仏壇の中心としてお祀りになる、ご本尊仏像・ご兩祖像をご寺院を通じて頒布する機関です。昭和42年に兩大本山で協議の上、設立されて以来、27年間、曹洞宗ご寺院の外護機関として活躍して参りました。この期間に全国の曹洞宗ご寺院を通じて、檀信徒の方々が奉祀されたご本尊仏は、15万体を超え、多数のお仏壇が位牌中心からご本尊中心に変わりました。

■奉讃会事務局連絡先
電話番号 03-3202-1231

曹洞宗本尊釈迦牟尼仏奉讃会事務局
住所 〒162 東京都新宿区戸山1-4-1
郵便宛先 〒162 東京都牛込郵便局私書箱112号

スリランカの仏教事情

奥羽大学教授 アンントン・ウィツキ

私はスリランカの首都コロンボ近くの町で生まれました。私の故国であるスリランカという国名がすぐピンとくる人は若い方たちです。ほとんどの人は、そんな国はどこにあるんだという顔をしますが、昔はセイロンと言っていましたと言うと、なんだ、それなら知っているぞと微笑んでくれます。ほとんどの人はセイロンというほうに馴染みがあるようです。元々はスリランカという呼び方だったので、約百八十年程前、イギリスの植民地になり、英国名でセイロンと呼ばれるようになりました。それが元のスリランカに戻ったのは二十五年前です。

美しい国、スリランカの人口は、東京とほぼ同じです。私の故国と日本は似ているところがたくさんあります。大きな国の傍にある島国で、その文化の影響を強く受けながら、政治的に従ったことが一度もない——日本の場合は中国・韓国。スリランカの場合はインドです。スリランカの歴史は非常に古く、今から三十

年前には、「ブッタ」という原住民が住んでいました。そこへ北インドの方からアーリア系のインド人——肌の色が白く、目が大きくて、ちょっと西洋人っぽい顔立ちをしており、今のインドの政治家の大半を占めている（インディラ・ガンジーさんのような顔）がスリランカに島流しをされて移ってきました。スリランカはその後、南インドから何度か攻撃されましたが、国全土を征服されたことは一度もありませんでした。

スリランカは大きく二つの人種にわけられます。北インドから来たアーリア系のシンハリ人と沿岸の北や東に住んでいたタミール人です。シンハリ人はスリランカの王侯であつたり、政治を司つていて、その頃インドで生まれたお釈迦様の教えが渡ってきました。今ではインドよりスリランカのほうが仏教が盛んで、国民の六割が仏教徒です。スリランカの仏教は昔からのお釈迦様の教えをそのまま受け継いでいます。仏教のお祭りや行事は全部、陰暦で

決まります。例えば日本では、いつも四月八日がお釈迦様の誕生日で、各地でお祭りがありますが、スリランカでは四月と五月の間の満月がお釈迦様の誕生日で、毎年、日にちが変わります。この満月の日に「ウエサック」というお祭りをします。これはスリランカでも最大の仏教のお祭りです。お釈迦様の絵を飾ったり、家の回りに電飾をつけたりして、ちように日本の仙台の七夕祭りのように華やかな雰囲気になります。みんなお休みを取って、仏教徒は必ずお寺にお参りします。この時はヒンズー教徒もキリスト教徒もこの飾り付けを楽しむために夜、町に繰り出します。この陰暦についてエピソードを一つ披露しましょう。スリランカ政府が仏教を国の宗教と定め、今までの太陽暦をやめて太陰暦に切り換えたことがあるのです。満月と新月の間に二つの日曜日、その前日を土曜日にしたのですが、ちゃんとした陰暦のカレンダーもあまり発売されず、国民はいつが休みになるのかわからないという不思議な状況になりました。それに国際社会からも取り残されるとついに一年半で元の太陽暦に逆戻り。スリランカ国民にとって宗教的な笑い話になって

梅花流法具販売指定店
御寺院莊嚴具・納骨堂設計施工

お仏壇一筋に80年、こころのやすらぎをおとどける

株式会社 仏壇の宮川

〒070 北海道旭川市2条通10丁目左8号

電話 (0166)24-3353(代)

F A X (0166)23-6110

しまいました。

こんなふうには仏教色の濃いスリランカで育った私が、海洋学の勉強の為に日本に留学したのです。当時、海洋学では日本とカナダが世界の第一、二位を争っていて、日本の文部省の奨学試験の結果が先に出たので、国賓留学生として日本に来ることになりました。日本の仏教に一番最初にふれたのは留学して間もなく渋谷に飲みに行った時です。偶然、隣の席になった人と話していたら、

「僕の父はお坊さんです。」「えーあなたの本当のお父さんですか？あなたのことは世間には内緒にしているんでしょ。」「とんでもない！父はちゃんと結婚してますよ。日本じゃ、お坊さんも普通の人と同じ、結婚しますよ。」大変なショックでした。スリランカではお坊さんは結婚しません。それに坊主頭でなくてはならない。黄色い袈裟を着なくてはいけない等々。入学して三年目にはこんなショックもありました。大学で指導を受けていた先生が亡くなられてそのお葬式に出席した時のこと。葬儀が終わった後、お経をあげていたお坊さん達が皆とお酒を飲んでいました。これもすごい驚きでした。日本とスリランカの仏教の違いを一

番強く感じたのはお坊さんの有り様でした。年月がたつてみると、スリランカのお坊さんとは不自然な世界に住んでいるんだなと思うようになってきました。これをしてはいけない、あれをしてはいけないと戒律を作った、それがお釈迦様の本当の教えのように思えないのですが。非人間的な生活を強いていると感じるので、スリランカではそういう戒律を理解した上でお坊さんになる人と、生活上、無理矢理、親にお坊さんにさせられる人もいて、なかなか規則が守られず、中には悪い人もいるようです。そうなるのは仏教に対する信頼感もだんだん薄れていきます。その点、日本では普通に結婚して、子供を育て、社会の勉強をしながら僧として一人前になっていきます。素晴らしいことだと思います。

私の家はキリスト教でしたが、友達には仏教徒もヒンズー教徒もいてお寺にもよく遊びにきました。宗教は、神様への一つの道”と思って育ちましたから、あの宗教はいいがこれは悪いというような考えはなく、今のように宗教が政治に動かされて戦争になったりするととても残念です。日本の仏教のお坊さんのように人間味溢れる生活を送りなが

ら、人々を導く姿を見ると感動すら覚えます。

私は、最終的にはスリランカのお坊さんではなく、日本のお墓に入って、日本のお坊さんにお経をあげてもらいたいと思っています。日本の仏教が今のようには穏やかに続いていくのも青年僧の皆さんの一人一人のこれからの力にかかっていると、思います。いつまでも素晴らしい日本の仏教であることを望みます。

プロフィール

スリランカ生まれ。国立セイロン大学卒業。
1年間、セイロン政府水産庁に研究員として勤務した後、1981年、日本の文部省の国賓留学生として来日。
東京大学農学部大学院に入学、海洋生物学を専攻、1989年、博士号を得る。
1993年3月より15年間、日本テレビ「ズームイン朝」で「ワンポイント英会話」のコナーを担当し、茶の間の人気を獲得。
現在は、奥羽大学教授、浜田国際大学客員教授、水戸短期大学客員教授の他日本テレビ英会話教室、コミュニティクラブ「たまがわ」等で英会話を教える。

総合建設 商事部・石材部・石工部・土木建築部・造園部・企画部

泉山石材株式会社

青森県八戸市是川坊坂1-2

TEL代表 (0178) 96-1414

FAX (0178) 96-5716

全曹青の コラム

平成八年度より兵庫県第二宗務所青年会の皆様、会長平岩浩文師を始めとして会員二四名が全曹青に加盟しました。これにより全曹青は一団体が増えて四九団体となりました。

御案内

青少年教化研究委員会では

「仏前結婚式」布教

ビデオを制作中!

檀信徒に約10分程で仏前結婚式を紹介。

タイトルは「トレンディブライダル」仏前(ホテル用)

式師・侍者の二人にて、ホテル内より司会者をたてて式進行の意味を説明し、若者向きにしながら。

各管区センター・単位曹青会・ブライダル協会・ホテル協会等、年内に無料配布の予定。

事業研修委員会では、ただ今「曹青通信」紙上で「青年僧に望む」シリーズを掲載しておりますが、そこでの執筆の方々をお招きし、来年の二月中旬にシンポジウムを開催しようという方向で進行しております。まだ日時、会場、出演者等は未定であります。次号、96号には詳しくご案内できるかと存じます。どうぞご期待下さい。

〈管区大会のお知らせ〉

東北地区曹洞宗青年会、第21回東北地方集会「秋田大会」が左記の通り開催されます。

メインテーマは「大衆教化の接点を求めて」ー心の探究ー

日時・平成八年十月十八日〜二十日
会場・秋田市補陀寺、秋田ビューホテル、秋田市文化会館大ホールの三会場。

内容・太田久紀先生の唯識の講義、一般公開講座

等の様々な催しを行います。
東海管区曹青、静岡(小)大会が

左記の日程で開催されます。

日時・平成八年十月二十八日、二十九日
会場・静岡市静岡グランドホテル、中島屋

内容・スポーツ親睦会ならびに花園大学教授、中尾良信師の「戒法について」の講演等

お詫びと訂正

前号94号で十四頁の松本皓一氏の名前の一字が誤っておりました。ここに訂正申し上げます、お詫び申し上げます。

☆松本皓一(誤) ↓ (正) 松本皓一

編集後記

第95号をお届けします。ここでもずもってお詫び申し上げます。いけないことは、九月五日現在で賛助金を頂戴申し上げた皆様は合計で五二ヶ寺を数えました。しかし、すべての皆様の寺院名を掲載できませんでした。次号に続けて載せますので何卒ご配慮下さい。

今年度になりました二回目の発行となります。第十一期の活動も残りあと一年を切った訳で、残された歳月を実りある活動とする為に全力を尽くす所存です。

次号96号は来年一月中旬に発送予定です。

マルチメディアのNEC

NEC

快速インターネットで、熱くなれ。

SBMATE [TheインターネットPC.バリュースター]
NEW VALUESTAR



ご使用の際は、必ず取扱説明書をよくお読みください。画面はパソコン合成です。

写真は、POS821 V20/M7
標準価格(税別)1690,000円より

〈パソコンに関する技術的なご質問・ご相談にお電話でお答えします。〉 NECパソコンインフォメーションセンター
東北022(387)6555 東京03(3452)8000 名古屋052(722)9800 大阪06(930)9821 九州092(262)9800 受付時間 9:00~17:00(月曜日を除く)電話番号は、よくお確かめのうえおかけください。
〈本広告に関するカタログを差し上げます。〉ハガキに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、勤務先を明記のうえ、〒108-01 東京都港区赤坂5-7-1 NEC 10-26560 VALUESTAR(曹青通信9月号)までお送りください。

「しばらくお待ちください」と出て、少し待つと「コンピュータの電源を切る準備ができました」と大きく表示されます。この画面を確認した後、電源をオフして下さい。今後大抵の場合、電源を切る際にはこの画面を確認してからオフにします。

パソコンに対しての何の予告もせずに、突然電源を切ったり、リセットをしたりするのは、せっかくのデータやプログラムを破壊する恐れがあるので、この点、今後とも注意されたい。

今回、日本テンプレヴァン株式会社様の御協力をいただき、ホームページを現在のサーバーとは別に掲載させていただきました。現行のサーバーより反応が良いようです。そちらのサーバーを利用いただきますようお願いいたします。

新URL <http://www.jtvan.co.jp/~soto/>

高祖大師中国求法地巡礼の旅 案内版

—— 正法眼蔵、典藏教訓をふまえ、本当の勉強をされた方にお薦めする ——

- ◆ 期 日 平成9年3月10日(月)～3月15日(土) 5泊6日
- ◆ 旅行代金 185,000円(成田発着) 178,000円(関空発着)
- ◆ 日 程 ①発地A.P——上海②上海——寧波——小白河——小白嶺——天童寺
③天童寺——古天童——阿育王寺——大梅山——寧波④寧波——雪竇山
紹興——杭州——⑤杭州——徑山——杭州——上海
⑥上海—発地A.P

今回は、道元禪師さまの求法地を数多く歩かれ、長年研究されている、村上博優老師を講師におむかえし、道元禪師さまのお心にふれる旅、本物の旅を企画致しました。また、村上老師は、浙江省仏教教会、宗教事務局の方々とも長年の交流を持ち親しくされています。どうぞ、この機会に、早春の中国を旅してみたいかがでしょうか。是非多くの皆様のお参加をお待ちしております。

※詳しくは、パンフレットをお持ちさせていただきます。宜しく願い申し上げます。

主 催

 **東武トラベル (株)長野支店**

TEL 026-226-0719 (代表)

 **東武トラベル (株)営業開発部**

TEL 03-3624-1237 (代表)

 **東武トラベル (株)西日本営業開発部**

TEL 06-942-8231 (代表)

なったときのために、安全な場所に保管しておいてください。

Windows 95セットアップ起動ディスク(CD)完了

とメッセージが出て、作業が完了したことが報告される。ここで「安全な場所」というのは、湿気が少なく、物理的衝撃が加わる可能性もなく、かつ磁気がない所を指す。つまり水に濡らすとマズイし、踏みつけてしまうのもマズイ、更にTVやスピーカーなど磁気を発生するモノや磁石などから離して保管しておく必要があるということ。

余談だが、友人がその昔、マグネット式の靴の中にフロッピーを保管してデータが読み出せなくなったりしたことがある。靴や箱関係のマグネットは、結構盲点になるので注意されたい。

さて、例によって作業が終わったなら「次へ」を左クリック。すると最初と同じ「作成するディスクセットの選択」画面に戻る。ただ、下部に

安全なディスクセット：

Windows 95セットアップ起動ディスク(CD)

と表示されていると思う。ここで、フロッピーをパソコンから取り出し（本体のフロッピーディスクドライブの下のボタンを押す）、「マイクロソフトウィンドウズ95CD-ROM セットアップ起動ディスク」と書いてある、添付のラベルを貼り付けて、上記の安全な場所に保管する。

この時点で、もう一枚フロッピーがあるならば、続けて「Windows 95起動ディスク」（最初には「システムディスク」と表示されていたはずだが）を作成することが出来るが、初めてパソコンを手にする方がフロッピーを余らせている、あるいは用意周到に買い揃えてある場合は少ないと思われるので、とりあえず「キャンセル」を左クリックする。

すると、「Microsoft Create System Disksの終了」という画面になり、

今回はシステムディスクを作成しないと選択されました。システムディスクを作成しないと、Windows 95の起動時に確認メッセージが表示されます。下のカウンタが5にセットされている場合は、5回Windowsを起動するごとにメッセージが表示されます。



後でシステムディスクを作成するには、[システムツール] フォルダの Create System Disks を実行してください。このメッセージを今後表示しないようにするには、カウンタを0に設定してください。

と説明されます。起動する度に確認メッセージが出されて作業が中断されるのも癪ですから、思い切ってカウンタを「0」にして構いません。その場合は「▼」の部分で4回程左クリックすればOK。やはり心配だという方は「5」のままでいいでしょう。

ここまで操作してくると、何となく基本的な作業の進め方が見えてくると思います。そう、その後ここは「完了」を左クリックです。すると、「Windowsへようこそ」という画面になります。時間に余裕があるなら、「Windows 入門(W)」を左クリックして色々眺めてみるのも良いでしょう。

一通りの設定はこれで終了です。「Windowsへようこそ」の画面は「閉じる」を左クリックすれば引込みます。そして画面の中のドアの絵（下には終了と書いてある）が描かれている部分を左クリック、「お疲れさまでした。98ランチを終了します」と出ますから、「OK」を左クリックです。

「●はい(Y)」を選択してプリンタが動作するか確認してみるのもいいでしょう。テスト印刷をしなかったからといって特に支障が生ずるわけではないので、面倒なら「●いいえ(N)」でも構いません。

いずれにせよ、最後に「完了」を左クリックすると、プリンタの設定はひとまず終了です。

(5) システムディスクの作成

プリンタの設定が終了すると、次に“Microsoft Create System Disks”という画面になり(『98 MATE GUIDE BOOK』P81参照)、“セットアップディスク”と“システムディスク”の作成について簡単な説明が表示される。両者の違いは何かというに、恐らく“セットアップディスク”は、付属のバックアップCDROMを再インストールする際に必要なもの、“システムディスク”はフロッピーからWindows 95を起ち上げたい時に必要なものであろう。

いずれにせよ、有事の際にはこれらが無いと、最悪手も足もでない状況になりかねないので、必ず作成しておきたいが、添付のフロッピーは1枚しかない。ここは、“セットアップディスク”最優先である。

ここで「次へ」を左クリックすると、「作成するディスクセットの選択」の画面になるが、まずは“Windows 95 セットアップ起動ディスク(CD) 1ディスク [1.25MB]”とある部分を反転表示させる(既に反転している場合にはそのままよい)。下の方には簡単な説明が表示されているが、要は致命的な操作ミス、あるいは何らかの原因でWindows 95自体が起動できない時に、復旧できるフロッピーだということ。

しかし同じものを「フロッピーディスク」と言ってみたり、「ディスク」と言ってみたり、あるいは「FD」などと表記したり、ここでも用語の統一が取れていない。こういった部分で不必要に初心者泣かせてしまうのは何とかして貰いたい。

上記の確認ができたなら、「次へ」を左クリック。すると、

ラベル“Windows 95 セットアップ起動ディスク(CD)”を1.25MBディスクに貼り、ドライブC：に挿入してください

というメッセージが表示される。“1.25MBディスク”とは、いわゆる「2HDのフロッピー」と思えばいい。ワープロ専用機用のものと「2DD」が多いので、形が酷似しているからといって、流用するわけにはいかない。ここでは『ファーストステップステップガイド』がパッケージされていた中に添付されていた黒いフロッピーを使えばよい。

それにしても“ドライブC：”などといきなり言われても困る。フロッピーが入る口(「フロッピーディスクドライブ」という)は一つしかないので、そこに挿入すればよいが、とても不親切な表現ではある。

ところで、『98 MATE GUIDE BOOK』P82では、

本機に添付されている、ラベルに貼られていないフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入してください。

と表記されている。はて、ラベルは先に貼るべきか否か？ 結論からいえば、ラベル如きは、自分がフロッピーの中味を把握すれば、いつ貼っても問題ないのだから、フロッピーが初めから欠陥品であることも考えられるから、まずはラベルを貼らずに“Windows 95 セットアップ起動ディスク”なるものを作成してみて、それが問題なく作成できたのを確認してラベルを貼るといい。

添付のフロッピーをフロッピーディスクドライブに挿入したなら、「次へ」を左クリック。パソコンが作業を開始して、少しすると、

システムディスクの作成が完了しました。Windows 95をインストールし直さなければならなく

を設定していない方は無視して更に「次へ」を左クリックして先へ進んで下さい。

すると、やや幻想的なメロディが少し流れてから、カラフルな画面になったり、時折真っ暗になったり、あるいは砂時計が出てきたりと、自動的に画面が切り替わったりします。

しばらくすると『98 MATE GUIDE BOOK』のP81にあるような、「プリンタウィザード」という画面が出てきます。プリンタを使用しない場合（まだ買い揃えていない場合）は「キャンセル」を左クリックしますが、既にプリンタがあるならば、「次」を左クリックします。「プリンタはどこに接続されていますか？」と尋ねられますが、「●ローカルプリンタ(L):」を選択して下さい（多分最初からそういう設定になっていると思います）。

選択した後、更に「次へ」を左クリック。すると、

プリンタの製造元とモデルを選んでください。プリンタにインストールディスクが付いている場合は、[ディスク使用]を押してください。プリンタが一覧にない場合は、プリンタのマニュアルを参照して互換性のあるプリンタを選んでください。

製造元(M):

Apple	▲
APTi	
Canon	
CASIO	
DEC	
EPSON	
Fuji Xerox	▼

プリンタ(P):

Apple LaserWriter II NTX-J	▲
Apple LaserWriter Pro 400	
Apple LaserWriter Pro 405	
Apple LaserWriter Select 610	
	▼

というような画面が出るはずですが。全曹青を窓口としてプリンタも購入された場合には、まず製造元の「▼」を左クリックし「NEC」が見えるようにして、次に「NEC」の文字を左クリックして反転表示させます。すると、プリンタの窓にも NEC 製のプリンタが表示されます。そこで、恐らく

PICTY100L をお持ちなら 添付のフロッピーを利用
 PC-PR1000EW をお持ちなら NEC MultiWriter 1000EW NPDL2
 PC-PR2000E をお持ちなら NEC MultiWriter 2000E NPDL2

辺りを選択すれば大丈夫だと思います。選択の手順は製造元の時と一緒です。ただし、プリンタに関してはモノが手元にないので、特に PICTY100L の方は、プリンタのマニュアルをよく読んでインストール法を確認されたい。

とりあえずは、仮にここで選択を誤っても後から変更できるので、安心して「次へ」を左クリックすると「プリンタに使用するポートを選んで……」云々という画面になる。ここは「LPT1:プリンタポート36ピン パラレルインターフェイス」を選択すること。方法は例によって、該当文字を左クリックして反転表示させる。

ポートを選択して「次へ」を左クリックすると、プリンタに名前が付けられる旨が表示されるが、表示されるままで構わない。「Windows アプリケーションでは、このプリンタを通常のプリンタとして使います」と表示されているならそのまま「次へ」を左クリックする。

もし、「Windows アプリケーションで、このプリンタを通常のプリンタとして使いますか?」という疑問形が表示されるようならば「●はい(Y)」を選択してから「次へ」を左クリックして下さい。

いずれにせよ「次へ」を左クリックすると、テストページの印刷をするかどうか尋ねられますので、

“Product ID:”を入力し終えたならば、それが間違っていないか確認。間違いを発見したら、矢印(←、→)キーでカーソル(「|」の点滅)を持って行って“DEL”キーを押すと消せる。この辺は日本語・英語に関わらず一緒である。確認が済んだら「次へ>」を左クリック。

「Windows のバージョン」という画面になる。これまで散々 Windows 95 に関するライセンスがど一たら、契約があーたらと言いつ聞かされたが、実際に Windows 95 を使うかどうかは、この場で初めて決定される(だったら許諾契約よりこっちが先にあるのが筋ではなかろうかと思う)。

いずれにせよ、目的は Windows 95 であるから、「変更(A)」など無視して「次へ>」を左クリックすると、「コンピュータの環境設定」という画面に切り替わる。そこで更に「次へ>」を左クリック。

「デバイスのインストール」という画面になり、「Windows 95 の準備ができるまで、しばらくお待ち下さい。準備には数分間かかることがあります。コンピューターの電源を切らずにお待ち下さい。」というメッセージとともに、赤い小太鼓が画面に表示される。ここで電源を切ったりリセットしたりすると非常に面倒な事態になりかねないので、またお茶でも飲みながら作業の完了を待ちましょう。

「デバイス」と言われても何のことも解らない方も多いと思いますが、ここでは気にせず、パソコンに対して Windows 95 が何等かの下準備をしているんだと思って下さい。しばらくすると、

セットアップが完了しました。フロッピーディスクドライブからディスクを取り出してください。[OK] を押すと、コンピューターを再起動して Windows 環境を作成します。

と出ます。一番初めに電源を投入しているのですから、フロッピーなど入れているはずもないのですが、一応何も入っていないことを確認して「OK」を左クリックして下さい。

すると、パッと画面が暗くなって、

1 個のファイルをコピーしました
システムが転送されました

と表示されるや否や、「ビポッ」と電源投入と同じ音がして再起動(リセット)がかかり、メモリチェックを経て、固定ディスク起動メニュー画面に戻ります。ここでまた「1: Windows 95」の反転表示を確認して“Enter”キーを押します。

(4) 各種自動設定と手動設定

それから Windows 95 が立ち上がるのですが、「Windows パスワードの入力」という画面で止まります。「98 MATE GUIDE BOOK」に何故このことが記されていないのか甚だ疑問です。

ともかく、まず「ユーザー名(U):」を入力します。自分の氏名で構わないのですが、日本語入力が可能な状態にするためには、“CTRL”キーを押しながら“XFER”キーを押す必要があります。氏名を入力し終えたなら、再び“CTRL”キーを押しながら“XFER”キーを押して日本語入力状態を解除します。

次に「パスワード(P):」ですが、秘密主義でない限り、何も入力しない方が無難です。これを入力してしまうと、次回からもパスワードの入力が要求されて非常に面倒ですし、入力したパスワードを忘れてしまった日には、助けようがありません。

しかし、どうしても他人に触られる可能性がある状態はイヤだという時には、自分だけが解る適当な英数字を入力して下さい。銀行カードの暗証番号のイメージでいいと思います。そうすることにより、次回からは同じ英数字を入力しないと起動しないようになると思います。

そこで「次へ>」を左クリックして次に進むと、「パスワードの確認」画面になりますが、パスワード

* Windows 95 の他人への貸与の禁止

EULA をお読みになり、同意されなければ、Windows 95 のセットアップを完了することはできません。

余計な専門用語を交えた文章で解りにくい、早い話が個人として用いる以外の目的で勝手にコピーを取るな、他人に貸すな、といった条件と、その条件に同意しないで、Windows 95 を使うのは許さないぞ、というもの。身近な例でいえば、カセットテープに音楽を録音するのは、個人として楽しむことのみを目的としなければならない、といった感じか。

言ってみれば「お決まりの文句」が記されているだけのことなので、構わず「次へ」を左クリックすると、その「使用許諾契約書」なる画面になる。画面上の枠の中がその該当文で、“ROLL UP” キーおよび“ROLL DOWN” キーにて上下に文章が眺められる仕組みになっている。画面上では“Page Down” キーを支えと指示されるが、これはリターンキー同様、NEC側で用語の統一が為されていないだけで、P78では補足しているものの、やはり不親切である。

さて、この使用許諾契約書は結構くどくどと解りにくい表現を繰り返すのみで々々熟読していたのでは何時間あっても足りない。法律文書や公式文書と同じで、余程精通した人でないと内容を的確に把握することは困難であるし、半分は企業相手の内容なので徒労に近い。何よりも同意しなければ先へ進めないのだから、せつかく手にしたパソコン本体の返品も辞さない強者でない限り同意せざるを得ないのだ。

すると現実的にはとりあえず、ざっと目を通して同意するのが妥当である。この使用許諾契約書は、『ファーストステップガイド Microsoft Windows95 For Distribution only with a new PC』という添付の冊子の先頭の2ページに同文が記されているので、どうせならそちらに目を通して貰った方が、チクチクと画面を動かしながら眺めるよりも遥かに見やすい。

というわけで、冊子の該当ページに目を通して、画面上「●同意する」とある部分を左クリック。更に「次へ」を左クリック。「Certificate of Authenticity」の画面に変わり、「バーコードの上に印刷されている番号を入力し、[次へ] を押してください」と言ってくる。

これはつまり、上記『ファーストステップガイド』の表紙の下部中央にあるバーコードの上の“Product ID: *****-OEM-*****-*****” (*は数字) の“Product ID:” 以下の部分を書き込めというだけのこと。

余談だが、途中に“OEM” という文字列や“-” という記号が入るのだから、「番号」という表現はおかしいし、英字の“O” と数字の“0” が見分け難い。しかも自分の場合、何故か日本語入力の状態になってしまっていた。そういう時には、“CTRL” キーを押しながら“XFER” キーを押して日本語入力状態を解除するとよい。英字入力状態だと、“Enter” キーを押さなくともスムーズに入力されるので、その点の違いを把握されたい。

また、このまま英字を打つと恐らくすべて小文字になってしまう。大文字を打つには“SHIFT” キーを押しながら入力したい文字を打てばよい。また、好みや確率的な問題でもあるが、“CAPS” キーを押すとキーボード左上のランプが点灯して、常に大文字が打てるようになる。その場合“SHIFT” キーを押しながら入力すれば小文字が出てくることになる。

“CAPS” キーは英文を多く打つ人やプログラムを組む人には不向きだが、日本語を中心に使う分には、覚えておくと何かと便利である。また、数字やよく使う記号は、キーボード右側に電卓のような部分(“テンキー” という)からも入力できる。今回のように数字の羅列を入力する際には、このテンキーを使うと非常に便利である。

<戻る

次へ>

キャンセル

というようなボタン状のものがあると思います。これの「次へ>」の部分に矢印をあわせて左クリック（人差し指を押す）して下さい。次に「ユーザー情報」画面になります。

ここで画面左下に「連 | 全 | あ | ?」というような表示がされていれば、日本語が入力できる状態です。万が一そういう状態でなかったならば、「CTRL」キーを押しながら「XFER」キーを押して下さい。この動作は日本語入力のオン/オフを制御するもので、我々のような文系職場の人間は今後とも頻繁に利用することになります。

日本語入力の基本はいわゆるローマ字変換で、例えば「そう」を出したい時には「S」キーを押して「O」キー、そして「U」キーを押してみして下さい。「名前 (A) :」の横の白い箱の中に「そう」と表示されたでしょうか。その状態のまま「Enter」キーを押すとひらがなが入力されますが、そこで更に一番手前の細長い棒状のキー（スペースキーという）を押してみてください。「そう」に相当する漢字が何か出てきます。

その漢字が目的の字でない場合はもう一度スペースキーを押してみて、それも違うのであれば更にもう一度スペースキーを押して下さい。すると、「そう」に該当する漢字の候補群がズラリと縦に表示されると思います。そこで矢印（↓、↑）キーで候補を選択して（文字が反転表示されます）「Enter」キーを押すと、目的の漢字が入力できます。

カタカナや英字を入力したい場合には、「連 | 全 | あ | ?」の「あ」の部分左クリックしてみてもから入力してみてください。また、恐らく「？」を左クリックすれば日本語入力の説明が出てくるでしょう。

そのようにして、ご自分の氏名を入力します。もし間違った字を入力してしまったら、矢印（←、→）キーでその字の直前にピコピコと点滅する棒（「|」カーソルという）を持ってきて「DEL」キーを押して下さい。その字が消去されるので、改めて入力し直すことができます。

氏名の入力済んだなら、マウスを転がして「会社名 (C) :」とある隣の白い箱の中に矢印を持っていき左クリックします。すると、点滅棒がそちらへ移動します。そういう状態になったことが確認できたなら、会社名を入力するわけですが、ここには自分の属する寺院名を入れておけばよいでしょう。入力の要領は氏名の時と同様です。

氏名と会社名（寺院名）を入力し終えたなら、これでよいか確認して、「次へ>」へ矢印を持って行って左クリックします。すると「Windows 95 のライセンス」が表示されます。重要そうな文章ですが、他に記載されていないようなので全文をここに上げておきます。

Windows 95 のライセンス

Windows 95 はユーザーに販売されるのではなく、ライセンスされます。Windows 95 の使用はエンドユーザー使用許諾契約書（“EULA”）によって支配されます。セットアップの次のステップでは EULA が表示されます。

Windows 95 は、日本国著作権法および国際条約により保護されています。Windows 95 の複製と使用については EULA に説明されています。

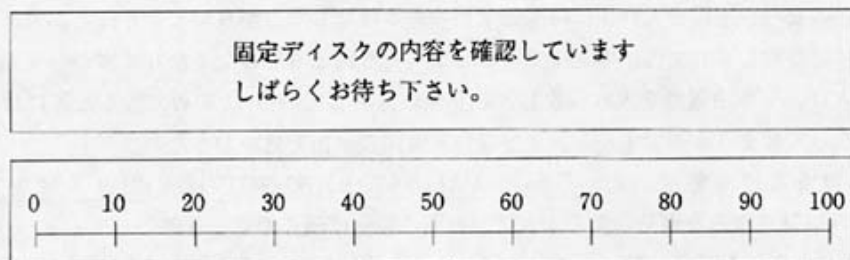
EULA で説明されている重要な権利と制約；

- * Windows 95 の 1 つのコピーを 1 台のコンピューターで使用し、バックアップコピーを保存すること

(2) 固定ディスクのチェック

いずれにせよ、ここで“Enter”キーを再び押さねば次に進まないの、押してみると、「念のため……固定ディスクの障害がないことをチェックします。」という文字が出て、下の方には「リターンキーを押すと固定ディスクをチェックします。」と出ているので、またまた“Enter”キーを押す。

すると「この度はN E Cの……念のため運搬中の……云々」と既出とほぼ同文のメッセージが出されるのみで、固定ディスクのチェックはまだ始まらない。直前の「リターンキー……チェックします。」は嘘だったのか、と嫌味なことを思いつつ再び“Enter”キーを押す。すると、鮮やかな水色と黄色のコントラストの下図のような画面に変わります。



このチェックに5分程度かかったらどうか、とりあえず少し待たされるものなので、画面が止まってしまったと勘違いして焦らないように。特に慌てて電源をオフにしたり、リセットを押したりすると折角入っているプログラムが壊れてしまう危険もありますので、「まあ、お茶でも飲んで待ちましょう」というつもりでいた方が無難です。

しかしこのチェックでは、異常が報告されたり、上記の画面事態が表示されない場合、あるいはチェック画面のまま1時間以上も待たされたまま本当に画面が止まってしまった場合には、速やかに上記N E Cビジネスシステム（前回記載）に連絡を取って下さい。

固定ディスクに何も異常がなかった場合、

固定ディスクの内容確認が終わりました
リターンキー押すとプログラム終了します

と表示され、リターン（“Enter”キーを押すこと）を促されます。プログラムを終了するなんて言われたら何も知らない初心者は戸惑ってしまい、リターンを押したものがどうか悩む人もいるかも知れないので、あまりいい表現じゃないと思うが、“Enter”キーを押さないことには画面は止まったままなので、何も考えずに押ししてしましましょう。

すると、一瞬だけ画面が真っ暗になって「1個のファイルをコピーしました」と表示され、スグにP78の一番上のような画面（Windows 95 セットアップへようこそ）になります。

(3) Windows 95 セットアップ

これまではキーボードだけで作業が進んできましたが、ここからはマウスも活躍します。マウスの使い方の基本は、机の上に置いて右手で転がして画面上の矢印を動かすこと、マウスの左側部分を人差し指で「カチッ」と押すこと（この動作を左クリックという）です。一概には言えませんが左側（人差し指で押す）が“Enter”キー、右側（中指で押す）が“ESC”キーの代用である場合が多いと思えば今後理解しやすくなるかも知れません。

「Windows セットアップへようこそ」の画面の下部に、

バリュースター格闘記 (Ⅱ)

— パソコン通信研究部会 —

§ 4 電源投入

(1) プロローグ

各コネクタの配線が済んだならば、いよいよ電源を投入。注意しておきたいのは、2時間程度の時間的余裕がないのなら、電源を入れずに時間的余裕のある時にした方がよいということ。慣れてしまえばパソコンを付けっ放しにして作業の途中で寝てしまっても何とも思わなくなりますが(実際通信ホストなどをする人は、一年中電源を入れっ放しという使い方もしている)、初めて触るときにはやはり、気が気でなくなってしまうものですから、十分な作業時間の余裕を見ておきたい。

基本的には§3でも参照した、『98mate VALUESTAR [PC-9821V13/V12] 9 8 M A T E GUIDE BOOK』のP74以降を読みながら作業をすれば、初回の設定は済んでしまう。

P74には電源を入れる順番が記されているが、スイッチ付きタップがあればそれで一括して電源投入をしてOK。手動でスイッチを一つ一つ入れる場合でも、さほど神経質になる必要はない。外部に後から何等かの装置(スキャナとかMOとか)を追加している場合、時々パソコンが装置の存在を確認し損ねることがあるが、そういう時でもリセットを押して本体を起動し直すだけで大丈夫なはず。

電源を投入すると「ビポッ」と音がして、メモリのチェックが始まり、少しすると“MEMORY 640KB + 14336KB OK”という表示がされる。この後、P76に図があるように、ハードディスク(固定ディスク)の起動選択メニューが表示されます。

ここでは「1: Windows 95」と書いてある行が、P74の図のように反転表示(白地に黒字)されているならば、そのまま“Enter”と書いてあるいちばん大きなキーを押します。万が一「2: RESERVE」と書いてある方が反転していましたら矢印キー(↑、↓)で上下に移動して、「**1: Windows 95**」という状態にして下さい。

すると、「この度はNECパーソナルコンピューター……云々」という画面になります。ここでもう一度“Enter”キーを押して下さい。画面では「リターンキーを押して下さい。」という表現が取られていますが、リターンキーというのは“Enter”と書かれている一番大きなキーのことです。ここら辺、NECにも表現の統一を考えて欲しいものです。

その“Enter”キーを押した後は、<注意>として「Windows 95 と Windows 3.1の両方を使用することはできません……云々」と出ます。つまりどちらか一方を選択しなければならないというわけで、この仕様はどうやらNECとマイクロソフトとの提携契約に依るものらしい。しかしパソコンに少し慣れた者がその気になれば、双方のWindowsのインストールも可能なわけで、物理的・機能的に無理というわけではない。

従ってある程度知っている人ならば、「ケチケチせず両方インストールしとけばいいのに!」と思うだろう。あるいは「初心者をおぼさないために、初めからWindows 95の画面を出すようにせんか!」と言いたくなる。そう、実用性や信頼度は別問題として、初めてパソコンを買おうとする大抵の人はニュースでもその名に聞き覚えがあり、かつ「なーんも知らんけど触ってみよ」で簡単そうな「Windows 95」なるものに興味を持っているはずなのだから…。